

3/17 4235

「核持ち込ませず」

原則を党内で議論

田嶋・高市氏表明

国民党の高市幹事長は、議論会長は六日、ロシアのウクライナ侵攻を受け、「非核」原則のつい核兵器を「持ち込ませや」との原則に賛成して議論した。

田嶋幹事長は、日本に米国が有事の際の米軍による核持ち込みは、その時の政府の判断だとの認識を示した。NHK番組で世耕氏は、核やミサイルを巡る日本の安全保障環境が激変したとして「現実を直視しなければならない」と提唱。核共有を巡り、「田嶋党を含めてこれまでの場面で議論は行う必要がある」と述べた。

も否定している。

高市氏は「シトルン」船組

で核兵器を搭載した米国艦船の領海通過を「有事でも拒めば」「核抑止力が全く機能しない」とし、例外を認めねばべきだとの見解を重ねて主張。田民主党政権時代に当時の岡田克也外相が、会議でも議論した。「田嶋党でも議論したい」と表明した。世耕弘成参院幹事長は、日本に米国の核兵器を配備し共同運用する「核共有」政策の議論の必要性を指摘した。立憲民主、共産両党は「時代遅れだ」（井上哲士共産参院幹事長）と反発した。岸田文雄首相は、「非核二原則を堅持する考え方を国会で説明。核共有の議論を巡り、「田嶋党を含めてこれまでの場面で議論は行う必要がある」と述べた。